

結果の概要

1 労働争議の種類別の状況

平成27年の労働争議は、「総争議」の件数は425件、総参加人員は174,043人となっており、前年に比べ、件数は70件（14.1%）減、総参加人員は52,422人（43.1%）増となった。「総争議」の件数は、比較可能な昭和32年以降、最も少なかった。

このうち、「争議行為を伴う争議」の件数は86件、行為参加人員は23,286人となっており、前年に比べ、件数は6件（7.5%）増、行為参加人員は4,633人（16.6%）減となった。（第1表、第1図、11頁附表）

第1表 労働争議の種類別件数及び参加人員の推移

年次	総争議		争議行為を伴う争議			争議行為を伴わない争議	
	件数	総参加人員	件数	総参加人員	行為参加人員	件数	総参加人員
平成23年	612	58,495	57	33,472	8,604	555	25,023
24	596	125,992	79	50,190	12,361	517	75,802
25	507	128,387	71	52,350	12,910	436	76,037
26	495	121,621	80	74,438	27,919	415	47,183
27	425	174,043	86	76,065	23,286	339	97,978
平成27年の 対前年増減数 (件・人)	△ 70	52,422	6	1,627	△ 4,633	△ 76	50,795
平成27年の 対前年増減率 (%)	△ 14.1	43.1	7.5	2.2	△ 16.6	△ 18.3	107.7

第1図 労働争議の種類別件数の推移

